

3.9. 行政系施設

■ 中期（2026～2035 年度）削減目標

項目	総量適正化実施前	総量適正化実施後 (中期削減目標)
延床面積	57,354.50 m ²	56,312.41 m ²
削減面積	—	1,042.09 m ²
更新等費用換算額（概算）	146.83 億円	121.70 億円
削減額	—	25.13 億円
面積削減率		0.16%

※面積削減率は、2015(平成 27)年度末現在における全施設の延床面積(630,729.53 m²)に占める割合。

(1) 庁舎等

■ 施設概要

① 市庁舎

- ア 本市の行政サービスの拠点施設として、6 施設を設置し、すべて直営で運営しています。
- イ 本庁舎は、庁舎内の一部を金融機関やコンビニエンスストア等、民間施設のテナントとして貸し出しています。
- ウ 南庁舎は、1 号館に中央公民館（分館）を併設しており、2 号館は、保健所機能と保健センター機能を一体化した健康支援センターの一部となっています。
- エ 西庁舎、南庁舎、南庁舎別館及び環境センターは、指定避難所となっています。
- オ 上下水道局には、営業部門を民間委託した「サービスセンター」があります。
- カ 環境センターは、道路公園等保全センターを併設した複合施設です。

② 支所等

- ア 支所及び出張所は 3 施設あり、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を担うことを目的に設置した施設で、直営で運営しています。
- イ 支所及び出張所は、公民館等、他の行政機能を併設した複合施設です。
- ウ 上九一色出張所は、指定避難所となっています。
- エ 連絡所は 2 施設あり、市民の便宜を図ることを目的に設置した施設で、直営で運営しています。
- オ 能泉連絡所は、消防団能泉分団本部拠点施設を併設した複合施設です。
- カ 宮本連絡所は、地域住民の健康の保持増進と医療の環境の向上を目的とした宮本診療所を併設した複合施設です。

③ 窓口センター

- ア 窓口センターは 10 施設あり、証明書の交付等の各種手続きを行っており、直営で運営しています。
- イ 窓口センターは、公民館等、他の行政機能との複合施設です。

小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年度		耐震化状況	運営形態	配置形態	指定避難所
						西暦	和暦				
市庁舎	1	甲府市役所本庁舎	甲府市丸の内 1丁目18番1号	27,981	8,874	2012	H24	不要	直営	単独	—
	2	甲府市役所西庁舎	甲府市宝 2丁目8番19号	4,819	15,935	1971	S46	不要	直営	単独	○
	3	甲府市役所南庁舎別館	甲府市相生 1丁目9番7号	1,157	968	1982	S57	不要	直営	単独	○
	4	甲府市役所南庁舎	甲府市相生 2丁目17番1号	4,800	16,931	1982	S57	不要	直営	複合	○
	5	甲府市上下水道局	甲府市下石田 2丁目23番1号	3,438	5,905	1980	S55	実施済	直営	単独	—
	6	甲府市環境センター	甲府市上町 601番地4	5,738	31,756	1995	H7	不要	直営	複合	○
支所等	7	甲府市役所千代田連絡所 (北部悠遊館内)	甲府市下帯那町 3054番地4	25	—	2003	H15	不要	直営	複合	—
	8	甲府市役所中道支所 (甲府市中道交流センター内)	甲府市下曾根町 1070番地3	317	—	2014	H26	不要	直営	複合	—
	9	甲府市役所上九一色出張所	甲府市古関町 1158番地	429	2,800	2008	H20	不要	直営	複合	○
	10	甲府市役所能泉連絡所	甲府市高成町 1010番地	109	1,574	1984	S59	不要	直営	複合	—
	11	甲府市役所宮本連絡所	甲府市御岳町 2359番地	158	559	1985	S60	不要	直営	複合	—
窓口センター	12	甲府市役所湯村窓口センター (甲府市北部市民センター内)	甲府市湯村 3丁目5番20号	50	—	1981	S56	実施済	直営	複合	—
	13	甲府市役所国母窓口センター (甲府市南西部市民センター内)	甲府市国母 6丁目4番2号	50	—	1983	S58	不要	直営	複合	—
	14	甲府市役所東部窓口センター (甲府市東部市民センター内)	甲府市和戸町 955番地1	50	—	1988	S63	不要	直営	複合	—
	15	甲府市役所武田窓口センター (甲府市北東部市民センター内)	甲府市武田 3丁目1番6号	50	—	1992	H4	不要	直営	複合	—
	16	甲府市役所山城窓口センター (甲府市南部市民センター内)	甲府市下今井町 15番地	50	—	1997	H9	不要	直営	複合	—
	17	甲府市役所池田窓口センター (甲府市西部市民センター内)	甲府市長松寺町 12番30号	50	—	1998	H10	不要	直営	複合	—
	18	甲府市役所青沼窓口センター (甲府市総合市民会館内)	甲府市青沼 3丁目5番44号	50	—	1990	H2	不要	直営	複合	—
	19	甲府市役所中道窓口センター (甲府市中道交流センター内)	甲府市下曾根町 1070番地3	—	—	2014	H26	不要	直営	複合	—
	20	甲府市役所大里窓口センター (大里悠遊館内)	甲府市大里町 3785番地1	31	—	2006	H18	不要	直営	複合	—
	21	甲府市役所上九一色窓口センター (甲府市役所上九一色出張所内)	甲府市古関町 1158番地	—	—	2008	H20	不要	直営	複合	—

※甲府市役所南庁舎は、保健センター、甲府市相生福祉センター、相生花菱コミュニティルーム及び中央公民館（分館）との複合施設。

※甲府市環境センターは、道路公園等保全センターとの複合施設。

※甲府市役所千代田連絡所は、北部悠遊館との複合施設。

※甲府市役所中道支所は、甲府市役所中道窓口センター、風土記の丘農産物直売所及び中道公民館との複合施設。

3.9 行政系施設

※甲府市役所上九一色出張所は、甲府市役所上九一色窓口センターとの複合施設。

※甲府市役所能泉連絡所は、甲府市消防団能泉分団本部拠点施設との複合施設。

※甲府市役所宮本連絡所は、甲府市直営宮本診療所との複合施設。

※甲府市役所湯村窓口センターは、北公民館及び北地域集会所との複合施設。

※甲府市役所国母窓口センターは、南西公民館及び南西地域集会所との複合施設。

※甲府市役所東部窓口センターは、東公民館及び東地域集会所との複合施設。

※甲府市役所武田窓口センターは、北東公民館及び北東地域集会所との複合施設。

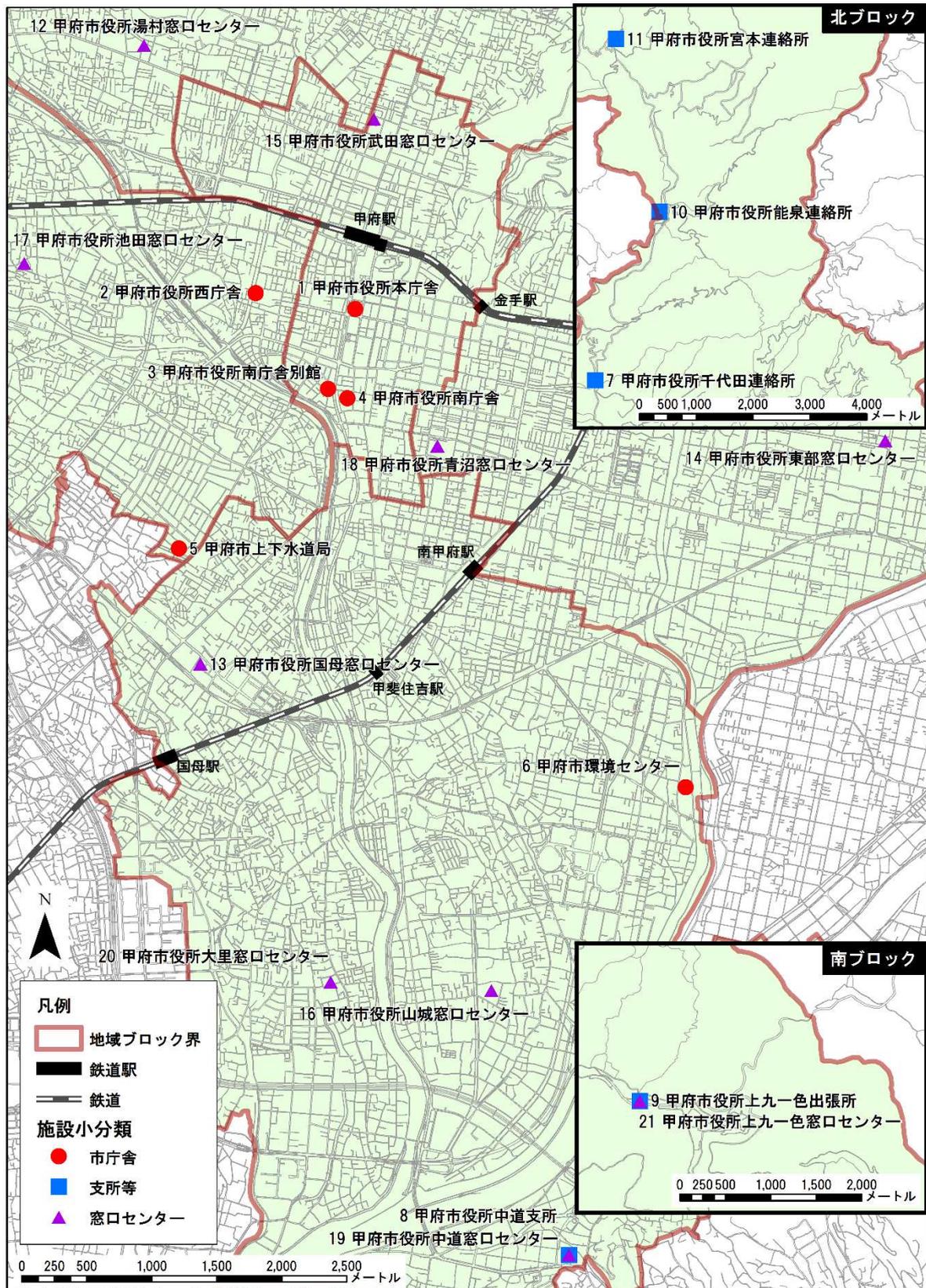
※甲府市役所山城窓口センターは、南公民館及び南地域集会所・温泉施設との複合施設。

※甲府市役所池田窓口センターは、西公民館、甲府市西部児童センター、池田小放課後児童クラブ及び西地域集会所との複合施設。

※甲府市役所青沼窓口センターは、甲府市総合市民会館及び遊亀公民館との複合施設。

※甲府市役所大里窓口センターは、甲府市立大里小学校及び大里悠遊館との複合施設。

■ 施設配置状況



■ 現況と課題

① 市庁舎

- ア 建築後30年以上経過している施設では、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。
- イ 西庁舎は、事務室及び倉庫（書庫）として利用していますが、施設の老朽化が課題となっています。
- ウ 西庁舎の倉庫（書庫）は、耐震化が未対応となっています。
- エ 南庁舎は、関係団体の事務所や地域の集会所として一部使用されています。
- オ 上下水道局は、建築後40年以上経過していますが、耐震診断や診断に基づく耐震補強等を実施し、庁舎の適切な維持管理に努めています。

② 支所等

- ア 支所及び出張所は、地域の市民サービスを低下させないための窓口機能を有しており、近隣施設と連携を図りながら、総合的な地域の行政サービスを提供しています。
- イ 上九一色出張所は、同敷地内に甲府市上九の湯ふれあいセンター及び上九ふれあい農産物直売所があります。
- ウ 連絡所は、建築後40年以上経過しており、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。

③ 窓口センター

- ア 本庁窓口の混雑緩和のため、今後も需要の増加が見込まれているマイナンバーカードに関する手続きや、オンラインサービスが進む中であっても、窓口対応を希望する方等への受け皿として、市民にとって身近な場所で手続きができる窓口センターが必要な状況です。
- イ 大里窓口センターは、入口からホールまでのスペースが狭く、また、受付カウンターが高いことから、車椅子の方等にとって使いにくい環境にあります。

■ 再配置の方向性（総合評価結果）

① 市庁舎

- ア 本庁舎、南庁舎、西庁舎及び南庁舎別館は、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と快適性の維持に努めます。
- イ 西庁舎の倉庫（書庫）については、今後のあり方について検討します。
- ウ 更新等にあたっては、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、スケルトン・インフィル方式を採用する等、将来に向け多目的に利活用できる手法の導入を推進します。

② 支所等

- ア 今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と快適性の維持に努めます。
- イ 各施設とも地域のニーズに順応した複合施設として、引き続き効率的な管理運営に努めます。
- ウ 更新等にあたっては、市民サービスを維持しながら近隣の地域サービスを提供する施設との複合化を検討するとともに、ユニバーサルデザインへの配慮やスケルトン・インフィル方式を採用する等、将来に向け多目的に利活用できる手法の導入を推進します。

③ 窓口センター

- ア 市民にとって身近な手続き窓口として、市民サービスの利便性の向上のため、窓口センターを継続します。
- イ 更新等にあたっては、市民サービスを維持しながら近隣の地域サービスを提供する施設との複合化を検討するとともに、ユニバーサルデザインを配慮する等、将来に向け多目的に活用できる手法の導入を推進します。

■ 中期（2026-2035 年度）の検討内容

<窓口センター>

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
甲府市役所大里窓口センター				○	◇施設運営の効率化を図ります。

※大里窓口センターは令和8年度に、自動ドア化、風除室の撤去及び窓口カウンターの改修を予定しています。

(2) 消防施設

■ 施設概要

① 消防団本部拠点施設等

- ア 消防団本部拠点施設等は、地域防災の中核である消防団の活動拠点として設置した施設です。
- イ 消防団本部拠点施設等は32施設あり、各施設の運営は消防団が行っています。
- ウ 能泉分団本部拠点施設及び貢川分団第1部は、コミュニティ防災センター等、他の行政機能を併設した複合施設です。

小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	建築年度		耐震化状況	運営形態	配置形態	指定避難所
						西暦	和暦				
消防団本部拠点施設等	1	甲府市消防団 富士川分団本部拠点施設	甲府市中央 3丁目3番1号	71	123	2012	H24	不要	その他	単独	—
	2	甲府市消防団 琢美分団本部拠点施設	甲府市城東 1丁目12番34号	68	126	1986	S61	不要	その他	単独	—
	3	甲府市消防団 相生分団本部拠点施設	甲府市相生 2丁目17番5号	67	102	1983	S58	不要	その他	単独	—
	4	甲府市消防団 新紺屋分団本部拠点施設	甲府市武田 3丁目4番38号	69	130	1983	S58	不要	その他	単独	—
	5	甲府市消防団 穴切分団本部拠点施設	甲府市宝 2丁目8番19号	58	83	1981	S56	不要	その他	単独	—
	6	甲府市消防団 春日分団本部拠点施設	甲府市丸の内 2丁目35番24号	69	121	1984	S59	不要	その他	単独	—
	7	甲府市消防団 朝日分団本部拠点施設	甲府市塩部 1丁目4番1号	192	280	2012	H24	不要	その他	単独	—
	8	甲府市消防団 里垣分団本部拠点施設	甲府市善光寺 2丁目8番17号	45	60	1990	H2	不要	その他	単独	—
	9	甲府市消防団 里垣分団第3部	甲府市酒折 2丁目5番17号	55	184	1994	H6	不要	その他	単独	—
	10	甲府市消防団 相川分団本部拠点施設	甲府市岩窪町 264番地1	107	250	2006	H18	不要	その他	単独	—
	11	甲府市消防団 国母分団本部拠点施設	甲府市国母 4丁目1番9号	41	129	1983	S58	不要	その他	単独	—
	12	甲府市消防団 貢川分団本部拠点施設	甲府市貢川本町 9番18号	94	210	2007	H19	不要	その他	単独	—
	13	甲府市消防団 池田分団本部拠点施設	甲府市池田1丁目 1番5号	68	69	1987	S62	不要	その他	単独	—
	14	甲府市消防団 山城分団本部拠点施設 (旧山城甲文館)	甲府市上今井町 2510番地1	322	718	1979	S54	未実施	その他	単独	—
	15	甲府市消防団 山城分団第2部	甲府市西油川町 277番地1	49	74	1992	H4	不要	その他	単独	—
	16	甲府市消防団 山城分団第4部	甲府市増坪町 259番地4	45	100	1990	H2	不要	その他	単独	—
	17	甲府市消防団 山城分団第5部	甲府市下今井町 731番地2	41	92	1988	S63	不要	その他	単独	—
	18	甲府市消防団 玉諸分団本部拠点施設	甲府市上阿原町 563番地	50	66	1978	S53	未実施	その他	単独	—

小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年度		耐震化状況	運営形態	配置形態	指定避難所
						西暦	和暦				
消防団本部拠点施設等	19	甲府市消防団千代田分団本部拠点施設	甲府市下帯那町1238番地	85	524	2010	H22	不要	その他	単独	—
	20	甲府市消防団宮本分団本部拠点施設	甲府市御岳町2474番地	50	50	1994	H6	不要	その他	単独	—
	21	甲府市消防団大里分団本部拠点施設	甲府市西下条町198番地2	50	50	1987	S62	不要	その他	単独	—
	22	甲府市消防団東分団本部拠点施設	甲府市青沼3丁目1番15号	75	98	1995	H7	不要	その他	単独	—
	23	甲府市消防団東分団青葉部	甲府市青葉町19番地	18	18	2013	H25	不要	その他	単独	—
	24	甲府市消防団北新分団本部拠点施設	甲府市北新1丁目6番9号	68	83	2023	R5	不要	その他	単独	—
	25	甲府市消防団羽黒分団本部拠点施設	甲府市山宮町885番地6	38	53	1987	S62	不要	その他	単独	—
	26	甲府市消防団白井分団本部拠点施設	甲府市下向山町1523番地	35	4,853	1979	S54	不要	その他	単独	—
	27	甲府市消防団湯田分団本部拠点施設	甲府市幸町14番15号	64	—	2004	H16	不要	その他	複合	—
	28	甲府市消防団能泉分団本部拠点施設	甲府市高成町1010番地	24	—	1985	S60	不要	その他	複合	—
	29	甲府市消防団貫川分団第1部(甲府市西部コミュニティ防災センター内)	甲府市富竹2丁目2番27号	37	—	1982	S57	不要	その他	複合	—
	30	甲府市消防団伊勢分団本部拠点施設	甲府市住吉1丁目3番10号	81	384	2016	H28	不要	その他	単独	—
	31	甲府市消防団甲運分団本部拠点施設	甲府市和戸町955番地1	112	274	2020	R2	不要	その他	単独	—
	32	甲府市消防団千塚分団本部拠点施設	甲府市千塚1丁目2番17号	191	541	2025	R7	不要	その他	単独	—

※甲府市消防団能泉分団本部拠点施設は、甲府市役所能泉連絡所との複合施設。

※甲府市消防団貫川分団第1部は、甲府市西部コミュニティ防災センターとの複合施設。

※甲府市消防団湯田分団本部拠点施設は、湯田悠遊館との複合施設。

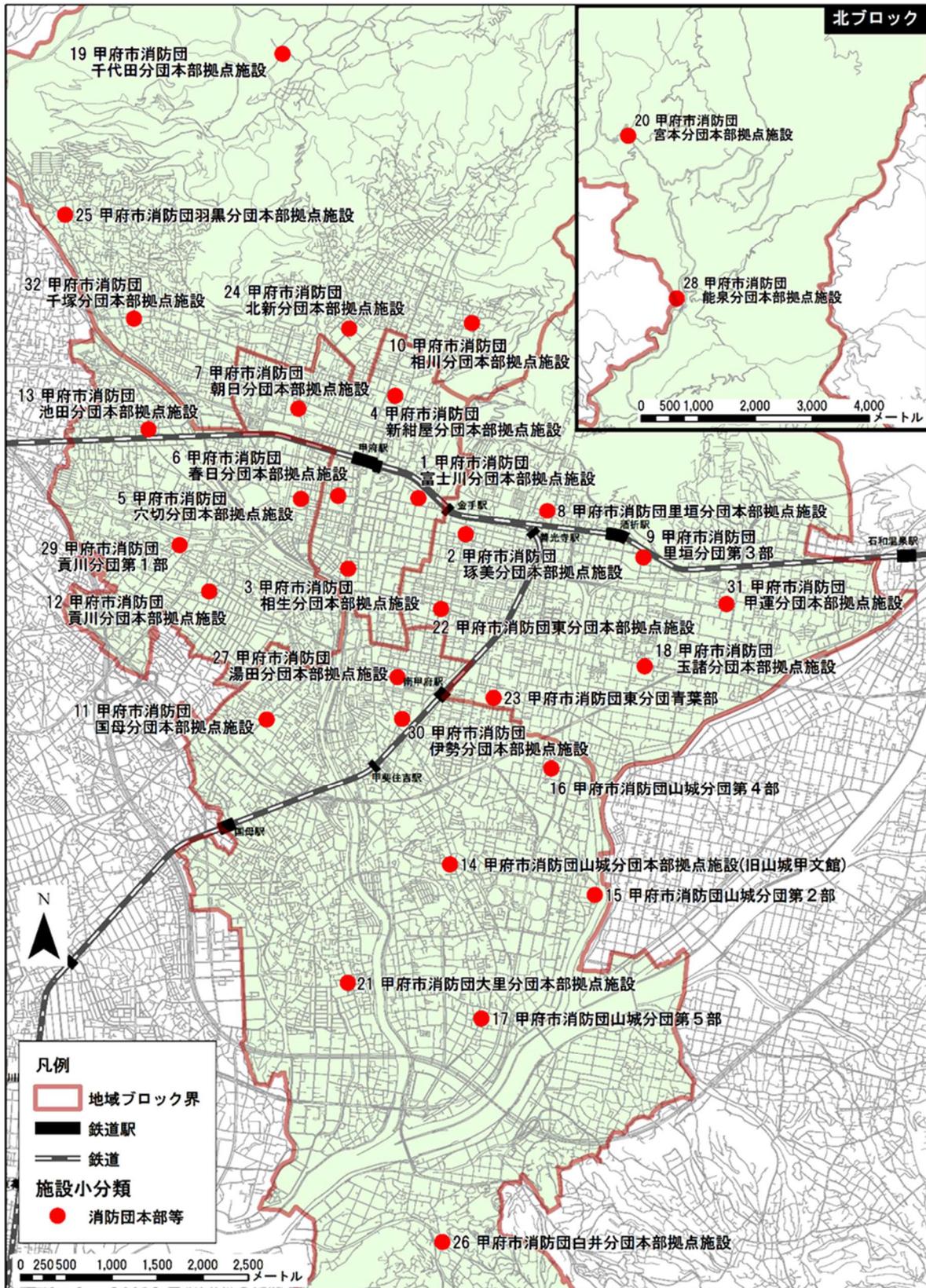
※甲府市消防団山城分団本部拠点施設(旧山城甲文館)の耐震化状況については、建屋の状況を注視しながら対応を検討予定。

■ 現況と課題

① 消防団本部拠点施設等

- ア 近年多発している自然災害への対応や平時の火災予防及び防災に関する啓発活動など、消防団に求められる役割は一層大きくなっています。
- イ 各施設は、消防車両や資機材の収納機能と会議室機能を備え、平常時は分団の会議等に使用しているほか、有事の際における、地域の災害活動拠点となっています。
- ウ 有事の場合を除き、主に利用される時間帯が夜間であることから、日中は低利用となっています。
- エ 建築後30年以上経過している施設では、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。
- オ 本市で所有している消防施設以外にも自治会が所有している消防施設があります。
- カ 玉諸分団本部拠点施設は、平成26年度に実施された耐震診断により、耐震基準を満たしておらず、建替えに関しても現在の敷地に必要面積を確保することは非常に困難であることから、代替地も含めた検討が必要です。

■ 施設配置状況



■ 再配置の方向性（総合評価結果）

① 消防団本部拠点施設等

- ア 消防団本部拠点施設等は、有事の際における、地域の災害活動拠点となることから、今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性の維持に努めます。
- イ 消防団本部拠点施設等以外の建物は、自治会や各分団等との協議により、地域移譲等を検討します。
- ウ 更新等に当たっては、地域や各分団との協議により、近隣の地域コミュニティ施設との複合化を検討します。

■ 中期（2026-2035年度）の検討内容

<消防本部拠点施設等>

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
甲府市消防団里垣分団第3部		○			◇地域移譲を検討します。
甲府市消防団山城分団第2部		○			
甲府市消防団山城分団第4部		○			
甲府市消防団山城分団第5部		○			
甲府市消防団玉諸分団本部拠点施設			○		◇建物は更新（建替え）を検討します。
甲府市消防団白井分団本部拠点施設	○				◇土砂災害の危険性リスクを回避するため、他の施設に機能移転を検討します。
甲府市消防団貢川分団第1部 （甲府市西部コミュニティ防災センター内）		○			◇地域移譲を検討します。

(3) その他行政系施設

■ 施設概要

① 道路補修センター

- ア 補修センターは、組織の連携・統合により、2019（令和元）年12月に道路公園等保全センターとして環境センター内に移転しました。
- イ 道路公園等保全センターは、平常時より、道路の維持管理、他部局からの依頼による維持補修作業のほか、水防時の緊急対応を行っている施設で、直営で運営しています。

② 防災センター

- ア 市民の自主防災組織の活動及び防災意識の高揚に寄与することを目的に設置した施設です。
- イ 防災センターは3施設あり、利用申請の受付業務・鍵の開閉や清掃等の運営を自治会でを行っています。
- ウ 西部コミュニティ防災センター及び北部コミュニティ防災センターは、消防団施設等、他の行政機能を併設した複合施設です。

③ 管理棟・事務所

- ア 上九一色農産物加工所は、指定管理者で運営しています。
- イ 農業集落排水施設管理棟は、農業集落の排水処理を目的に設置した施設で、直営で運営しています。
- ウ 岩窪甲文館は、発掘調査の報告書を作成している施設で、直営で運営しています。

④ 倉庫・書庫等

- ア 文化財倉庫①、旧上九一色村役場倉庫及び文化財倉庫②の3施設は、文化財や公文書等を保管しており、直営で運営しています。
- イ 森林管理資機材倉庫は、管理目的用倉庫として直営で運営しています。

⑤ 防災倉庫

- ア 防災倉庫は、災害応急活動に必要な防災資機材や非常用食料を備蓄することを目的に設置した施設で、直営で運営しています。
- イ 単独の防災倉庫は4施設あります。

⑥ 水防倉庫

- ア 水防倉庫は、災害時に円滑な災害応急活動ができるよう、土のうや水防資機材を備える施設で9施設あり、直営で運営しています。

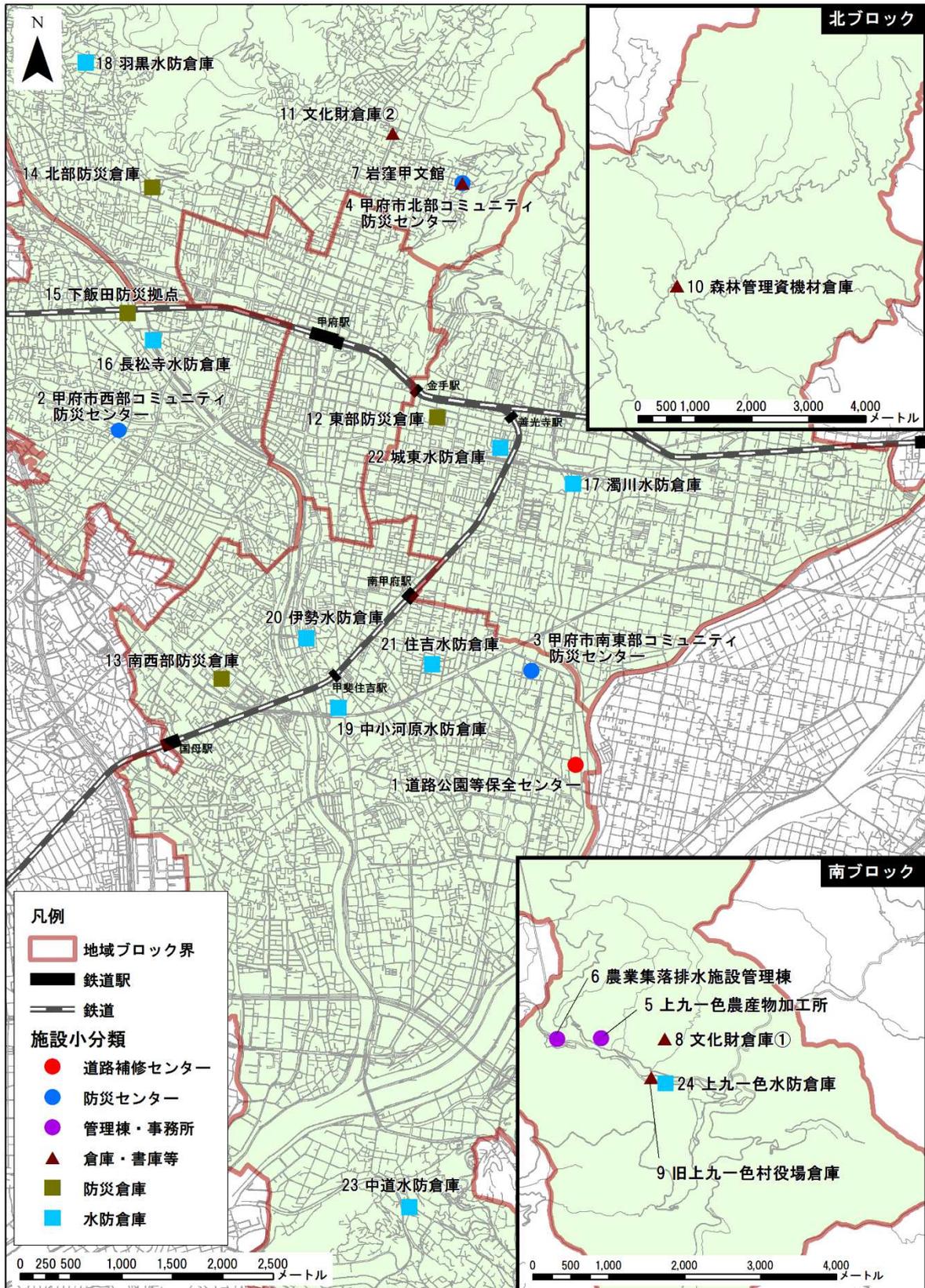
小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年度		耐震化状況	運営形態	配置形態	指定避難所
						西暦	和暦				
道路補修センター	1	道路公園等保全センター (甲府市環境センター内)	甲府市上町 601 番地 4	359	—	1995	H7	不要	直営	複合	—
防災センター	2	甲府市西部コミュニティ防災センター	甲府市富竹 2 丁目 2 番 27 号	302	1,036	1982	S57	不要	その他	複合	—
	3	甲府市南東部コミュニティ防災センター	甲府市増坪町 251 番地 1	199	1,921	2003	H15	不要	その他	単独	—
	4	甲府市北部コミュニティ防災センター (甲府市北部幼児教育センター内)	甲府市岩窪町 261 番地	289	—	1978	S53	不要	その他	複合	—
管理棟・事務所	5	上九一色農産物加工所 (旧甲府精進湖有料道路管理事務所)	甲府市梯町 526 番地 1	634	297	1972	S47	不要	指定管理	単独	—
	6	農業集落排水施設管理棟	甲府市梯町 534 番地 1	195	812	1996	H8	不要	直営	単独	—
	7	岩窪甲文館 (甲府市北部幼児教育センター内)	甲府市岩窪町 261 番地	160	—	1978	S53	不要	直営	複合	—
倉庫・書庫等	8	文化財倉庫① (旧上九一色小学校)	甲府市古関町 1201 番地	2,001	3,297	1964	S39	不要	直営	単独	—
	9	旧上九一色村役場倉庫	甲府市古関町 3427 番地	449	449	1968	S43	不要	直営	単独	—
	10	森林管理資機材倉庫 (旧きのこ栽培小屋)	甲府市御岳町字舞台 3288 番地	13	13	1990	H2	不要	直営	単独	—
	11	文化財倉庫② (旧相川市民会館)	甲府市屋形 3 丁目 地内	199	307	1974	S49	不要	直営	単独	—
防災倉庫	12	東部防災倉庫	甲府市城東 1 丁目 12 番 35 号	101	7,530	1984	S59	不要	直営	単独	—
	13	南西部防災倉庫	甲府市国母 6 丁目 5 番 1 号	72	290	2018	H30	不要	直営	単独	—
	14	北部防災倉庫	甲府市湯村 3 丁目 5 番 20 号	102	3,598	1980	S55	不要	直営	単独	—
	15	下飯田防災拠点	甲府市下飯田 1 丁目 442 番地	182	6,082	2019	R1	不要	直営	単独	—
水防倉庫	16	長松寺水防倉庫	甲府市飯田 5 丁目 地内	15	15	1977	S52	不要	直営	単独	—
	17	濁川水防倉庫	甲府市酒折 1 丁目 21 番地	39	39	1996	H8	不要	直営	単独	—
	18	羽黒水防倉庫	甲府市羽黒町 175 番地 2	39	280	1987	S62	不要	直営	単独	—
	19	中小河原水防倉庫	甲府市中小河原 1 丁目 13 番地	39	162	1987	S62	不要	直営	単独	—
	20	伊勢水防倉庫	甲府市伊勢 4 丁目 2088 番地 15	23	72	1995	H7	不要	直営	単独	—
	21	住吉水防倉庫	甲府市住吉 4 丁目 1744 番地 5	16	27	1996	H8	不要	直営	単独	—
	22	城東水防倉庫	甲府市城東 5 丁目 423 番地 1	11	96	2002	H14	不要	直営	単独	—
	23	中道水防倉庫	甲府市下向山町 1523 番地	62	4,853	2003	H15	不要	直営	単独	—
	24	上九一色水防倉庫	甲府市古関町 3427 番地	68	286	1979	S54	不要	直営	単独	—

※道路公園等保全センターは、甲府市環境センターとの複合施設。

※甲府市北部コミュニティ防災センター及び岩窪甲文館は、甲府市北部幼児教育センター及びあすなろ学級本級との複合施設。

※甲府市西部コミュニティ防災センターは、甲府市消防団貢川分団第 1 部との複合施設。

■ 施設配置状況



■ 現況と課題

① 道路補修センター

- ア 道路公園等保全センター技能職員の高齢化が進む中で、民間活力の導入も踏まえ将来に向けた業務体制を検討する必要があります。

② 防災センター

- ア 防災センターには、防災教育を実施するための会議室と、災害応急活動に必要となる防災資機材や非常用食料を備蓄するための防災倉庫を設置していますが、地震の被害想定が変更されたため、防災倉庫の追加設置などを検討しています。
- イ 防災センターは、地域の会議や体力づくりなど地域コミュニティの集会所として利用されています。
- ウ 西部コミュニティ防災センターと北部コミュニティ防災センターは、建築後 30 年以上経過しており、建物や設備等の老朽化対策が課題となっているほか、会議室の利用率は減少傾向にあります。
- エ 西部コミュニティ防災センターは、国道の拡幅整備の動向を注視し、更新等を検討する必要があります。
- オ 防災倉庫には、災害時における円滑な物資運搬ができるよう、大型車両での通行や乗入れが可能な程度の接道要件があります。

③ 管理棟・事務所

- ア 建築後 30 年以上経過している施設では、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。
- イ 上九一色農産物加工所は、1 階を農事組合法人上九ふれあいの里が使用しており、2 階は未利用スペースとなっています。また、水害時には一時避難所として使用します。
- ウ 農業集落排水施設管理棟は、旧上九一色地域の汚水処理を行っている施設であり、人口減少が顕著に進行している地域ではありますが、地域生活環境の改善を図り、併せて農業用排水及び公共水域の水質保全を目的として恒久的に利用する施設であることから、今後も維持管理のため計画的な設備の更新が必要です。
- エ 岩窪甲文館は、事務施設として使用しており、建物が築 40 年以上経過していることから、施設や設備の老朽化対策が課題となっています。

④ 倉庫・書庫等

- ア 建築後 40 年以上経過している施設では、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。
- イ 文化財の保管場所は、市内各所に点在しているほか、山梨県の規定により出土品の大多数が「保存する」もしくは「原則保存する」と定められています。また、現在保管しているものはすべて保管する対象物となっており、年々保管量が増加していくことから、慢性的なスペース不足が課題となっています。
- ウ 旧上九一色小学校は、校舎を倉庫・書庫として活用し、体育館はスポーツ施設として一般開放しています。
- エ 森林管理資機材倉庫は、松茸の栽培試験小屋として設置した施設ですが、設置当初の役割を終え、倉庫として利用しています。

⑤ 防災倉庫

- ア 防災倉庫には、災害時における円滑な物資運搬ができるよう、大型車両での通行や乗入れが可能な程度の接道要件があります。
- イ 防災倉庫は、災害発生時に必要となる物資、資機材等を保管する施設です。
- ウ 地震の被害想定が変更されたため、防災倉庫の追加設置などを検討しています。
- エ 災害時の迅速な対応ができるよう、集約するよりも分散して配置することが望ましい施設です。
- オ 建築後 30 年以上経過している施設では、建物の老朽化対策が課題となっています。

⑥ 水防倉庫

- ア 水防倉庫は、災害発生時に必要となる物資、資機材等を保管する施設です。
- イ 災害時の迅速な対応ができるよう、集約するよりも分散して配置することが望ましい施設です。
- ウ 建築後 30 年以上経過している施設では、建物の老朽化対策が課題となっています。

■ 再配置の方向性（総合評価結果）

① 道路補修センター

- ア 道路公園等保全センターは、民間事業者との連携や多様なサービスの提供方法を検討し、更なる効率化を図ります。

② 防災センター

- ア 西部コミュニティ防災センターは、建物の改修時期を迎えますが、国道の拡幅整備の動向を注視する中で方向性を検討します。
- イ 北部コミュニティ防災センターは、北部幼児教育センター建物の更新等を検討する際、適正規模化を併せて検討します。
- ウ 更新等に当たっては、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、スケルトン・インフィル方式を採用する等、将来に向け多目的に活用できる手法の導入を検討します。

③ 管理棟・事務所

- ア 上九一色農産物加工所は、指定管理者の更新時期に合わせて廃止を検討します。
- イ 農業集落排水施設管理棟は、今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と信頼性の維持に努めます。
- ウ 岩窪甲文館は、北部幼児教育センター建物の更新等を検討する際、適正規模化を併せて検討します。

④ 倉庫・書庫等

- ア 市内各所に点在する文化財倉庫については、現在、保管スペースが限界を迎えつつあり、保管スペースの確保策を検討します。
- イ 機能の集約化に合わせ、他の用途での活用を検討するとともに、老朽化状況をみながら廃止を検討します。

⑤ 防災倉庫

- ア 今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び修繕等を行いながら機能を維持していきます。
- イ 地域防災計画の地震の被害想定を踏まえ、新たな防災倉庫の必要性を検討します。
- ウ 更新等に当たっては、老朽化状況や防災資機材の必要量を踏まえ、適正規模化を検討します。

⑥ 水防倉庫

- ア 建替え制限のある用途地域に立地している倉庫は、今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び修繕等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性の維持に努めます。
- イ 長松寺水防倉庫、中小河原水防倉庫、伊勢水防倉庫及び上九一色水防倉庫は、建物の点検・診断結果を踏まえ、修繕又は建替えを検討します。
- ウ 羽黒水防倉庫は、点検・診断結果を踏まえ修繕又は用途地域制限のかからない場所に移転建替えを検討します。
- エ 更新等に当たっては、周辺施設との複合化を検討します。また、建替えに当たっては、プレハブ等での整備を優先して検討します。

■ 中期（2026-2035 年度）の検討内容

<防災センター>

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
甲府市西部コミュニティ防災センター	○				◇国道の拡幅に伴う動向を注視する中で方向性を検討します。
甲府市北部コミュニティ防災センター （甲府市北部幼児教育センター内）			○		◇北部幼児教育センター建物の更新等を検討する際、適正規模化を併せて検討します。

<管理棟・事務所>

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
上九一色農産物加工所 （旧甲府精進湖有料道路管理事務所）		○			◇廃止し、利活用を検討します。 ◇廃止を検討する際は、一時避難所の検討も行います。
岩窪甲文館			○		◇北部幼児教育センター建物の更新等を検討する際、適正規模化を併せて検討します。

3.9 行政系施設

<倉庫・書庫等>

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
文化財倉庫① （旧上九一色小学校）				○	◇施設等の長寿命化を図りながら、今後のあり方を検討していきます。
文化財倉庫② （旧相川市民会館）	○				◇建物は廃止し、他の施設に機能移転を検討します。 ◇廃止後の跡地は、史跡として整備を検討します。

<防災倉庫>

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
東部防災倉庫			○		◇適正規模での更新等を検討します。
北部防災倉庫			○		

<水防倉庫>

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
長松寺水防倉庫			○		◇更新（建替え）を検討します。
上九一色水防倉庫			○		

3.10. 公営住宅

■ 中期（2026～2035年度）削減目標

項目	総量適正化実施前	総量適正化実施後 (中期削減目標)
延床面積	144,198.08 m ²	120,049.88 m ²
削減面積	—	24,149.20 m ²
更新等費用換算額（概算）	410.77 億円	343.91 億円
削減額	—	66.86 億円
面積削減率		3.83%

※面積削減率は、2015(平成27)年度末現在における全施設の延床面積(630,729.53 m²)に占める割合。

(1) 公営住宅

■ 施設概要

① 公営住宅(市営住宅)

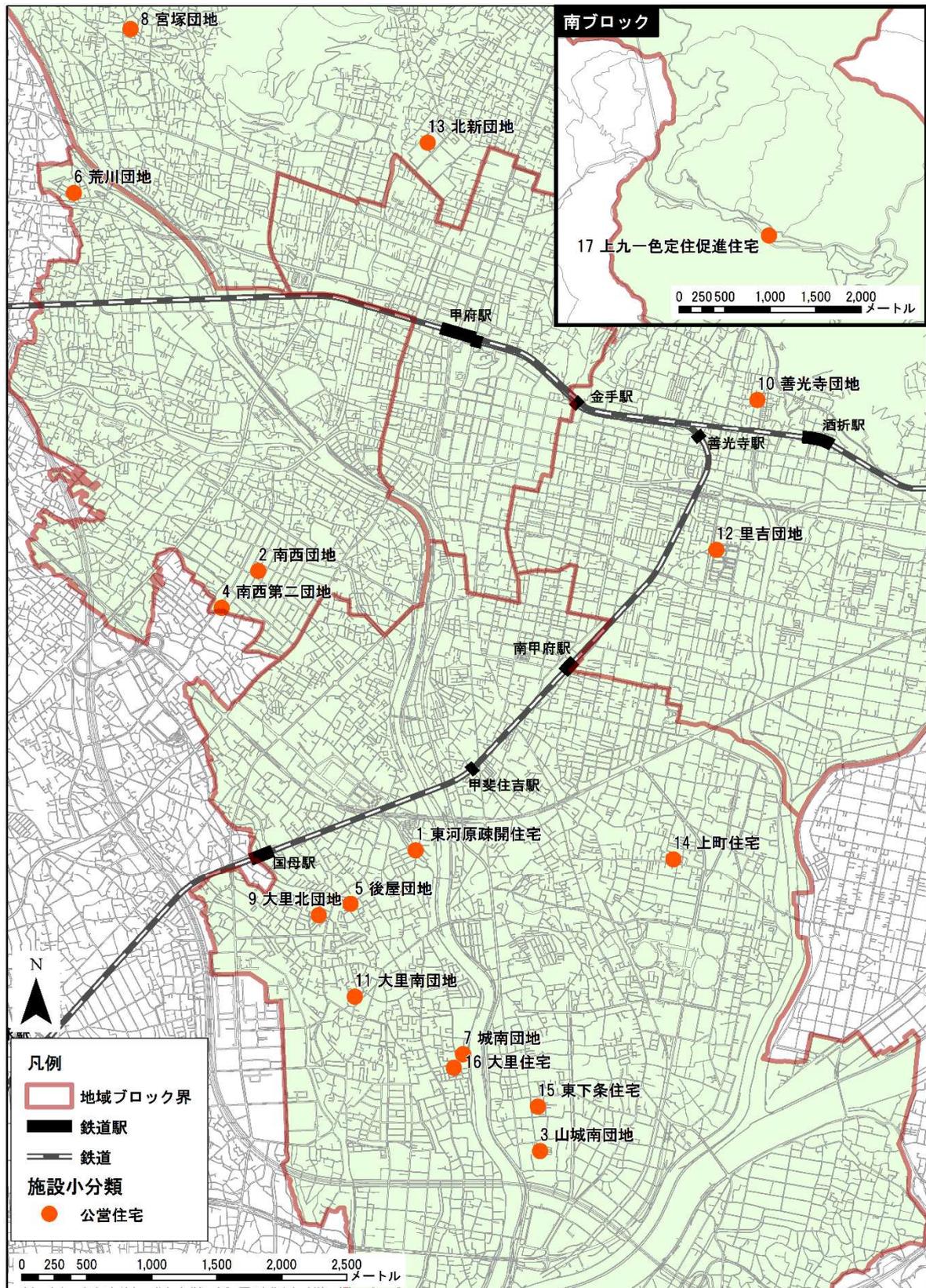
- ア 住宅に困窮する低額所得者が健康で文化的な生活を営むことができるよう、低廉な家賃で賃貸又は転貸し、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に設置した施設です。
- イ 公営住宅は17施設あり、直営で運営しています。

小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	建築年度		耐震化 状況	運営 形態	配置 形態	指定 避難所
						西暦	和暦				
公営住宅	1	東河原疎開住宅	甲府市上小河原町 1156番地	28	113	1960	S35	不要	直営	単独	—
	2	南西団地	甲府市上石田 4丁目19番	10,613	10,786	1969	S44	不要	直営	単独	—
	3	山城南団地	甲府市東下条町 463番地	4,231	9,572	1971	S46	不要	直営	単独	—
	4	南西第二団地	甲府市下石田 2丁目16番	7,397	7,642	1973	S48	不要	直営	単独	—
	5	後屋団地	甲府市後屋町 653番地	17,987	26,606	1975	S50	不要	直営	単独	—
	6	荒川団地	甲府市荒川 2丁目 12番	10,928	11,936	1977	S52	不要	直営	単独	—
	7	城南団地	甲府市大里町 3252番地	4,413	6,986	1979	S54	不要	直営	単独	—
	8	宮塚団地	甲府市山宮町1900番 地、千塚5丁目15番	3,533	5,194	1980	S55	不要	直営	単独	—
	9	大里北団地	甲府市大里町 1415番地	8,369	10,215	1984	S59	不要	直営	単独	—
	10	善光寺団地	甲府市善光寺 3丁目20番	6,888	9,340	1985	S60	不要	直営	単独	—

3.10 公営住宅

小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年度		耐震化状況	運営形態	配置形態	指定避難所
						西暦	和暦				
公営住宅	11	大里南団地	甲府市大里町 4137 番地	5,607	6,178	1986	S61	不要	直営	単独	—
	12	里吉団地	甲府市里吉 2 丁目 3、4、8、9、10、11 番	33,964	51,612	1989	H1	不要	直営	単独	—
	13	北新団地	甲府市北新 1 丁目 5~6 番、2 丁目 4 番	19,686	17,593	2013	H25	不要	直営	単独	—
	14	上町住宅	甲府市上町 1248 番地	4,205	7,688	1964	S39	実施済	直営	単独	—
	15	東下条住宅	甲府市東下条町 142 番地	2,383	4,148	1969	S44	実施済	直営	単独	—
	16	大里住宅	甲府市大里町 3340 番地 2	3,253	5,008	1976	S51	不要	直営	単独	—
	17	上九一色定住促進住宅	甲府市古関町 836 番地 他	713	549	2000	H12	不要	直営	単独	—

■ 施設配置状況



■ 現況と課題

① 公営住宅(市営住宅)

- ア 建築後30年以上経過している施設では、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。
- イ 計画的な修繕を行っていますが、1955(昭和30)年～1974(昭和49)年に建設した耐火構造住宅については、建設当時の生活様式に合わせた設計及び施工であるため、近年の生活水準の向上に伴う生活様式の変化に対応しにくい状況があります。
- ウ 高齢者や障がい者をはじめ、住宅に困窮する世帯に対し、社会的セーフティネットとしての役割を担っています。
- エ 入居率が低下傾向であることから、既存住宅ストックを有効活用するため、入居資格要件を緩和するなど、入居率向上に向けた取組を実施しています。
- オ 「甲府市市営住宅長寿命化計画」(2020(令和2)年3月改定)に基づき、適切に維持管理しています。
- カ 建築後の経過年数が長い市営住宅が増加し、更新等に多額の費用が掛かることが想定されるため、民間施設を活用した借上型公営住宅制度、PPP/PFI等の民間活力の導入を検討する必要があります。

■ 再配置の方向性(総合評価結果)

① 公営住宅(市営住宅)

- ア 建物の老朽化や入居状況等を考慮した公営住宅全体のあり方を整理し、住宅の適正規模及び適正配置に向けた集約化等を検討します。
- イ 今後維持していくストックは最大限活用し、「甲府市市営住宅長寿命化計画」に基づく計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と快適性の維持に努めます。
- ウ 再配置により発生が見込まれる余剰地については、有効活用策を検討します。
- エ 更新等に当たっては、子育て世帯から高齢者世帯までの幅広いニーズに対応するため、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、地域のまちづくりの視点から、コミュニティスペース[※]や民間商業施設等との複合化を検討します。また、定期借地権契約を活用した建物整備やPPP/PFI等、積極的な民間活力の導入を検討します。

※コミュニティスペース等：生涯学習や地域活動において地域住民が利用するスペースや福祉関連施設等。

■ 中期(2026-2035年度)の検討内容

<公営住宅>

施設名称	目標達成に向けた視点(機能) (効果が期待できる手法)				再配置の方向性 (検討すべき内容)
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
東河原疎開住宅		○			◇廃止し、民間に売却を検討します。
南西団地			○		◇住宅の適正規模及び適正配置について検討 します。
山城南団地			○		

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
南西第二団地			○		◇住宅の適正規模及び適正配置について検討 します。
後屋団地			○		
荒川団地			○		
城南団地			○		
宮塚団地			○		
上町住宅			○		
東下条住宅			○		
大里住宅			○		

※山城南住宅については、令和8年度以降に12号館を除くその他の棟の除却を予定しています。

3.11. 公園

■ 中期（2026～2035 年度）削減目標

項目	総量適正化実施前	総量適正化実施後 (中期削減目標)
延床面積	1,544.42 m ²	1,544.42 m ²
削減面積	—	0.00 m ²
更新等費用換算額（概算）	3.79 億円	3.79 億円
削減額	—	0.00 億円
面積削減率		0.00%

※面積削減率は、2015(平成 27)年度末現在における全施設の延床面積(630,729.53 m²)に占める割合。

(1) 公園施設

■ 施設概要

① 都市公園

- ア 市民の憩いの場としての利用に供すること、及び健康増進に寄与することを目的に設置した施設です。
- イ 便所等の附属施設がある都市公園は 33 施設です。
- ウ 甲府駅北口多目的広場及び歴史公園は、指定管理者制度により運営しています。それ以外の公園は、直営で運営しています。
- エ 遊亀公園（遊亀公園附属動物園）は、動物園を併設する近隣（特殊）公園となっています。

② チビッコ広場

- ア 子どもの健全な育成と体力の増進を目的に設置した広場です。
- イ チビッコ広場は、子ども達の遊び場、地域の方々の身近な広場として利用されています。附属施設（トイレ）があるチビッコ広場は 6 か所あります。

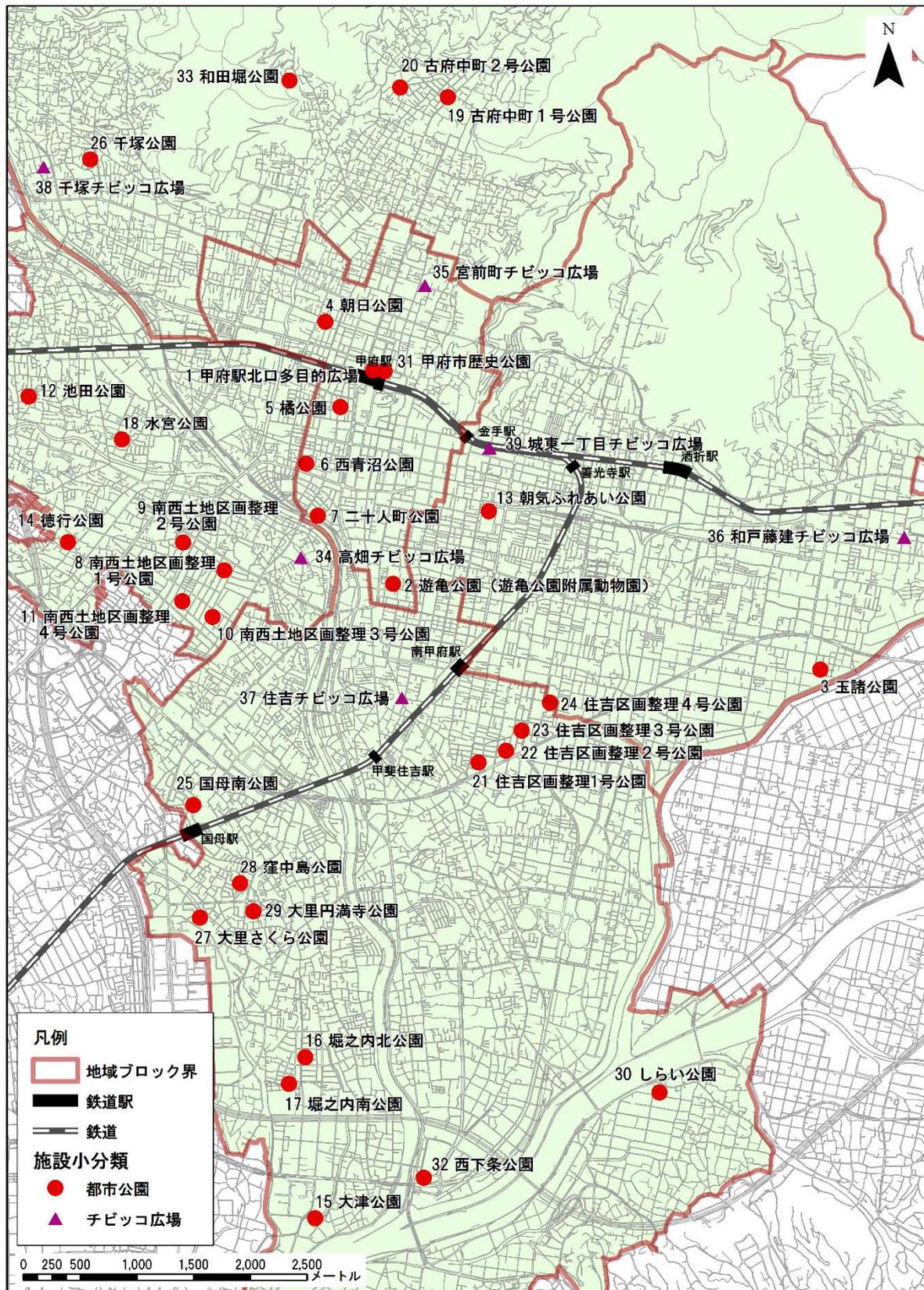
小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	建築年度		耐震化 状況	運営 形態	配置 形態	指定 避難所
						西暦	和暦				
都市公園	1	甲府駅北口多目的広場	甲府市北口 2丁目 170 番地 1	52	1,486	2010	H22	不要	指定 管理	単独	—
	2	遊亀公園 (遊亀公園附属動物園)	甲府市太田町 554 番地 1	706	27,228	1985	S60	不要	直営	単独	—
	3	玉諸公園	甲府市向町 568 番地 1	10	24,048	1969	S44	不要	直営	単独	—
	4	朝日公園	甲府市朝日 2丁目 392 番地	7	641	1981	S56	不要	直営	単独	—
	5	橘公園	甲府市丸の内 2丁目 294 番地	7	1,766	1981	S56	不要	直営	単独	—
	6	西青沼公園	甲府市丸の内 3丁目 921 番地	7	2,934	1980	S55	不要	直営	単独	—

小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年度		耐震化状況	運営形態	配置形態	指定避難所
						西暦	和暦				
都市公園	7	二十人町公園	甲府市相生 1丁目 527 番地	7	2,434	1978	S53	不要	直営	単独	—
	8	南西土地区画整理 1 号公園	甲府市上石田 3丁目 1865 番地	6	7,227	1987	S62	不要	直営	単独	—
	9	南西土地区画整理 2 号公園	甲府市貢川本町 1784 番地	6	3,304	1986	S61	不要	直営	単独	—
	10	南西土地区画整理 3 号公園	甲府市下石田 2丁目 275 番地	6	5,675	1987	S62	不要	直営	単独	—
	11	南西土地区画整理 4 号公園	甲府市下石田 2丁目 62 番地	6	2,996	1986	S61	不要	直営	単独	—
	12	池田公園	甲府市中村町 471 番地 3	53	16,950	1984	S59	不要	直営	単独	—
	13	朝気ふれあい公園	甲府市朝気 1丁目 930 番地 8	22	6,120	1983	S58	不要	直営	単独	—
	14	徳行公園	甲府市徳行 5丁目 1997 番地 1	9	1,715	1990	H2	不要	直営	単独	—
	15	大津公園	甲府市大津町 941 番地 9	41	22,239	1989	H1	不要	直営	単独	—
	16	堀之内北公園	甲府市堀之内町 766 番地	17	2,360	1996	H8	不要	直営	単独	—
	17	堀之内南公園	甲府市堀之内町 961 番地	119	9,392	1981	S56	不要	直営	単独	—
	18	水宮公園	甲府市下飯田 4丁目 1640 番地	9	1,700	2000	H12	不要	直営	単独	—
	19	古府中町 1 号公園	甲府市古府中町 6024 番地 1	12	1,953	1994	H6	不要	直営	単独	—
	20	古府中町 2 号公園	甲府市古府中町 6016 番地	11	1,995	1994	H6	不要	直営	単独	—
	21	住吉区画整理 1 号公園	甲府市住吉 5丁目 3126 番	5	2,399	2015	H27	不要	直営	単独	—
	22	住吉区画整理 2 号公園	甲府市住吉 5丁目 3191 番地	20	2,000	1999	H11	不要	直営	単独	—
	23	住吉区画整理 3 号公園	甲府市住吉 4丁目 3036 番地	5	1,997	2007	H19	不要	直営	単独	—
	24	住吉区画整理 4 号公園	甲府市住吉 3丁目 3091 番地	8	3,365	1999	H11	不要	直営	単独	—
	25	国母南公園	甲府市国母 8丁目 2452 番地	7	1,787	1999	H11	不要	直営	単独	—
	26	千塚公園	甲府市千塚 5丁目 2238 番地 1	70	21,543	2005	H17	不要	直営	単独	—
	27	大里さくら公園	甲府市大里町 5349 番地	7	754	2007	H19	不要	直営	単独	—
	28	窪中島公園	甲府市大里町 5370 番地	7	2,048	2007	H19	不要	直営	単独	—
	29	大里円満寺公園	甲府市大里町 5421 番地	7	1,590	2007	H19	不要	直営	単独	—
	30	しらい公園	甲府市上曾根町 4078 番地	149	5,453	2005	H17	不要	直営	単独	—

3.11 公園

小分類	図面 番号	施設名称	所在地	延床 面積 (㎡)	敷地 面積 (㎡)	建築 年度		耐震化 状況	運営 形態	配置 形態	指定 避難所
						西暦	和暦				
都市公園	31	甲府市歴史公園	甲府市北口 2丁目170番地3	100	6,039	2006	H18	不要	指定 管理	単独	—
	32	西下条公園	甲府市西下条町 1347番12	11	9,017	2012	H24	不要	直営	単独	—
	33	和田堀公園	甲府市和田町 2966番	15	8,680	1989	H1	不要	直営	単独	—
チビッコ広場	34	高畑チビッコ広場	甲府市高畑 1丁目27番地1	4	1,289	1973	S48	不要	直営	単独	—
	35	宮前町チビッコ広場	甲府市宮前町 298番地1	3	17,039	1964	S39	不要	直営	単独	—
	36	和戸藤建チビッコ広場	甲府市和戸町 1230番地	2	973	1967	S42	不要	直営	単独	—
	37	住吉チビッコ広場	甲府市住吉 1丁目2227番地	3	2,452	1963	S38	不要	直営	単独	—
	38	千塚チビッコ広場	甲府市千塚 4丁目3260番地1	3	698	1963	S38	不要	直営	単独	—
	39	城東一丁目チビッコ広場	甲府市城東 1丁目99番地	6	433	1963	S38	不要	直営	単独	—

■ 施設配置状況



■ 現況と課題

① 都市公園

- ア 公園利用者の安全と安心の確保及び将来の改築や更新に係るコストの低減を図るため、2020（令和2）年2月に策定した「甲府市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に維持管理をしています。
- イ 2025（令和7）年度に「甲府市公園施設長寿命化計画」を見直しました。
- ウ 公園に求められる利用者のニーズは、少子高齢化の進行に伴い、年々変化しています。
- エ 建築後20年以上経過している施設では、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。
- オ 「甲府市公園施設長寿命化計画」で対象としていない2ha未満の都市公園の遊具以外の老朽化対策が課題となっています。
- カ 遊亀公園及び附属動物園は、建物や設備等の老朽化対策のほか、動物福祉及び展示効果等の改善を目的に、2019（平成31）年2月に「甲府市遊亀公園・附属動物園 整備計画（実施計画）」を策定しました。
- キ 遊亀公園については、2022（令和4）年4月にリニューアルオープンしました。
- ク 附属動物園については、2027（令和9）年度にリニューアルオープンする予定です。

② チビッコ広場

- ア チビッコ広場は、各自治会で管理しています。
- イ 広場に求められる利用者のニーズは、少子高齢化の進行に伴い、年々変化しています。
- ウ 設置後30年以上経過している広場では、樹木や設備等の老朽化対策が課題となっています。

■ 再配置の方向性（総合評価結果）

① 都市公園

- ア 計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と快適性の維持に努めます。
- イ 包括管理等の導入による維持保全を検討します。

② チビッコ広場

- ア トイレの老朽化が進行している状況を踏まえ、地元自治会と協議を行いながら、安全性や利便性の維持に努めます。

■ 中期（2026-2035年度）の検討内容

- 中期で検討する施設はありません。

3.12. 供給処理施設

■ 中期(2026～2035 年度)削減目標

項目	総量適正化実施前	総量適正化実施後 (中期削減目標)
延床面積	930.34 m ²	930.34 m ²
削減面積	—	0.00 m ²
更新等費用換算額(概算)	55.37 億円	8.26 億円
削減額	—	47.11 億円
面積削減率		0.00%

※面積削減率は、2015(平成 27)年度末現在における全施設の延床面積(630,729.53 m²)に占める割合。

(1) 供給処理施設

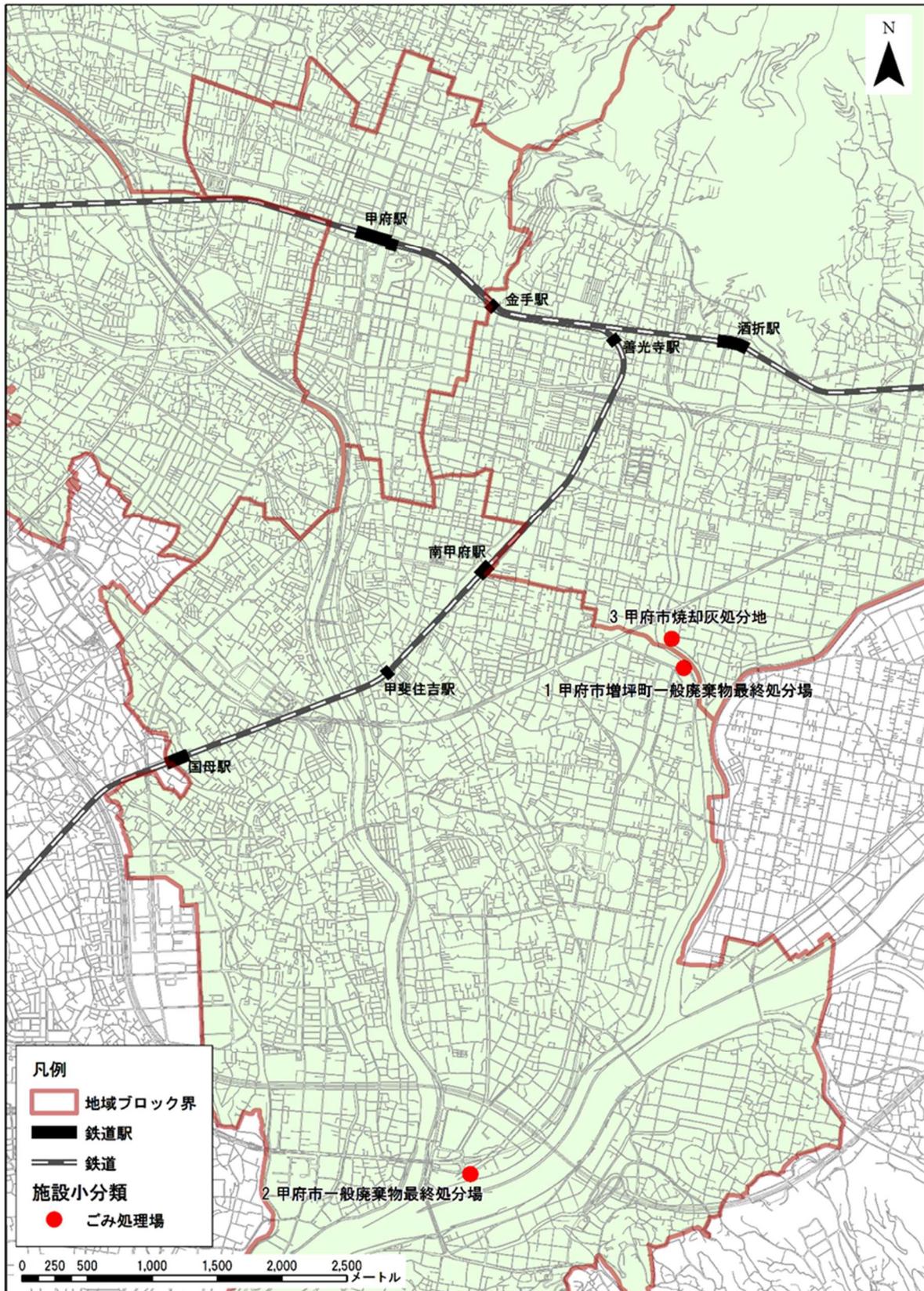
■ 施設概要

① ごみ処理場

- ア 市域内における一般廃棄物の適正な処理、運搬及び最終処分を図ることを目的に設置した施設です。
- イ 一般廃棄物最終処分場及び焼却灰処分地は 3 施設あり、委託により管理業務を行っています。

小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	建築年度		耐震化 状況	運営 形態	配置 形態	指定 避難所
						西暦	和暦				
ごみ処理場	1	甲府市増坪町一般廃棄物 最終処分場	甲府市増坪町 710 番地 3	376	14,494	1993	H5	不要	その他	単独	—
	2	甲府市一般廃棄物 最終処分場	甲府市小曲町 1024 番地 7	143	18,774	1986	S61	不要	その他	単独	—
	3	甲府市焼却灰処分地	甲府市西高橋町 383 番地	411	18,026	2002	H14	不要	その他	単独	—

■ 施設配置状況



■ 現況と課題

① ごみ処理場

- ア 一般廃棄物最終処分場及び焼却灰処分地は、既に埋立てが完了していることから、管理業務のみとなっていますが、廃止又は跡地の利活用に向けては、環境衛生基準をクリアする等の課題があります。
- イ 一般廃棄物最終処分場及び焼却灰処分地は、災害発生における災害廃棄物の仮置場の候補地として指定されています。
- ウ 一般廃棄物最終処分場及び焼却灰処分地は、埋め立て処分は終了していますが、設備の老朽化対策が課題となっています。

■ 再配置の方向性(総合評価結果)

① ごみ処理場

- ア 一般廃棄物最終処分場及び焼却灰処分地は、環境・防災上重要な役割を担っていることから、今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性の維持に努めます。

■ 中期(2026-2035年度)の検討内容

- 中期で検討する施設はありません。

3.13. その他

■ 中期（2026～2035 年度）削減目標

項目	総量適正化実施前	総量適正化実施後 (中期削減目標)
延床面積	39,870.28 m ²	37,609.84 m ²
削減面積	—	2,260.44 m ²
更新等費用換算額（概算）	124.96 億円	119.46 億円
削減額	—	5.50 億円
面積削減率		0.36%

※面積削減率は、2015(平成 27)年度末現在における全施設の延床面積(630,729.53 m²)に占める割合。

(1) その他

■ 施設概要

① リサイクルプラザ

ア 環境保全学習の場の提供と、健康増進を図ることを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営しています。

② 駐輪場

- ア 公共の場所における自転車の放置を防止するとともに、自転車を利用する方の利便性を図ることを目的に設置した施設です。
- イ 甲府駅周辺等に 7 施設(甲府駅北口第 1、甲府駅北口第 2、甲府駅南口第 1、甲府駅南口第 2、桜町、酒折駅北口、酒折駅南口)あり、無料で利用できます。
- ウ 甲府駅北口第 1 及び甲府駅南口第 2 は、異なる指定管理者により運営しています。

③ 斎場・墓場

- ア 斎場は、火葬場として、甲府市民と周辺住民の需要に応えることを目的に設置した施設で、直営で運営しています。
- イ つつじが崎霊園は、市民の宗教的感情に適合し、公衆衛生その他市民生活の改善を図ることを目的に設置した施設で、直営で運営しています。

④ 公衆便所等

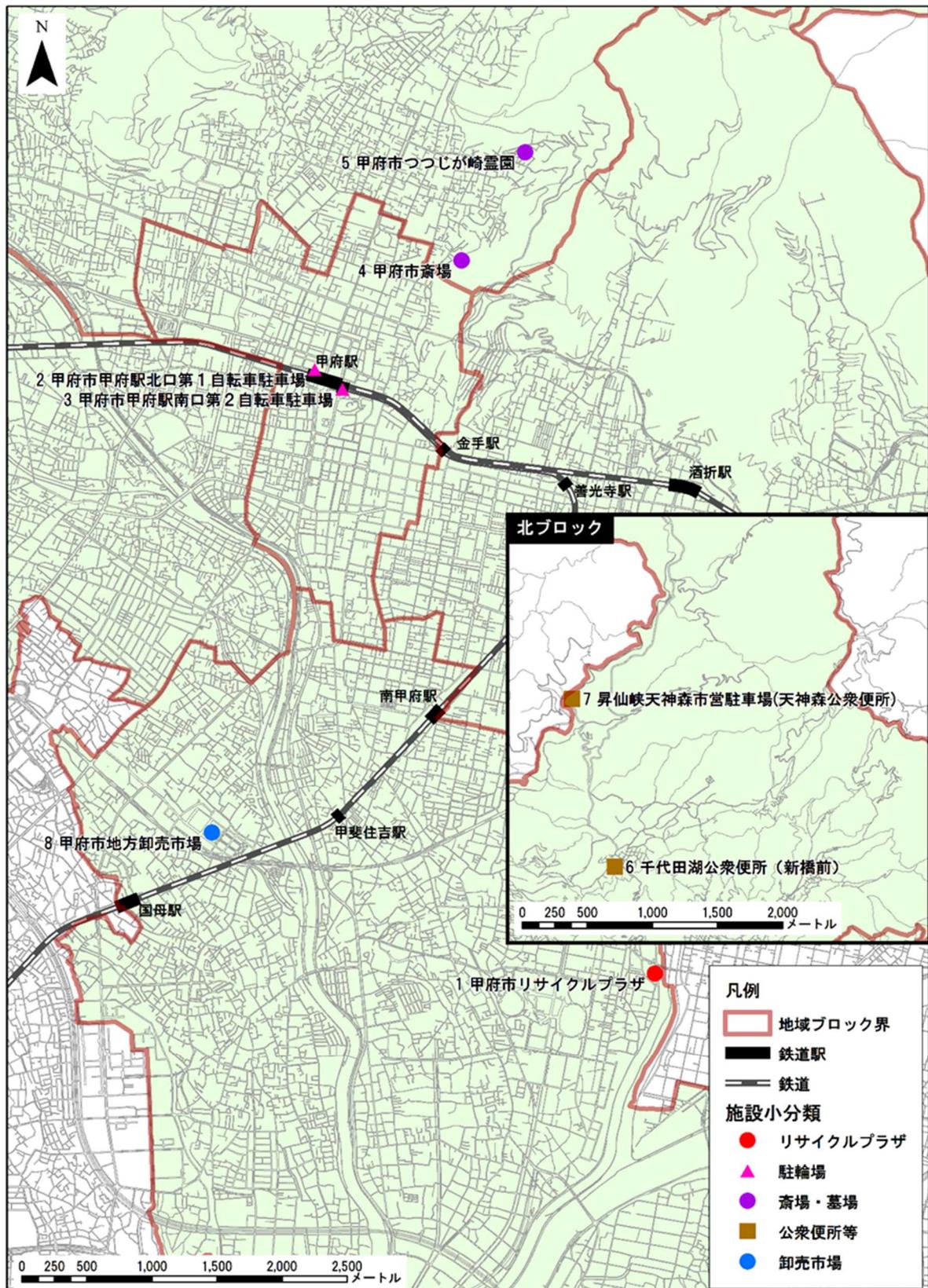
- ア 観光振興に寄与し、環境美化の推進を図ることを目的に設置した施設です。
- イ 公衆便所等は 2 施設あり、直営で運営しています。

⑤ 卸売市場

ア 生鮮食料品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図り、市民等の生活の安定に資することを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営しています。

小分類	図面番号	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年度		耐震化 状況	運営 形態	配置 形態	指定 避難所
						西暦	和暦				
リサイクル プラザ	1	甲府市リサイクルプラザ	甲府市上町 601 番地 2	3,082	15,558	1996	H8	不要	指定 管理	単独	—
駐輪場	2	甲府市甲府駅北口 第1自転車駐車場	甲府市丸の内 1丁目12番地8	1,237	784	2007	H19	不要	指定 管理	単独	—
	3	甲府市甲府駅南口 第2自転車駐車場	甲府市丸の内 1丁目562番地4	1,216	563	2015	H27	不要	指定 管理	単独	—
斎場・ 墓場	4	甲府市斎場	甲府市古府中町 5079番地6	1,866	16,618	1984	S59	不要	直営	単独	—
	5	甲府市つつじが崎霊園	甲府市岩窪町 533番地1	112	39,778	1989	H1	不要	直営	単独	—
公衆便 所等	6	千代田湖公衆便所 (新橋前)	甲府市下帯那町 448番地	30	30	2005	H17	不要	直営	単独	—
	7	昇仙峡天神森市営駐車場 (天神森公衆便所)	甲府市平瀬町 3201番地1	36	1,703	2022	R4	不要	直営	単独	—
市場 卸売	8	甲府市地方卸売市場	甲府市国母 6丁目5番1号	32,292	106,389	1971	S46	実施済	指定 管理	単独	—

■ 施設配置状況



■ 現況と課題

① リサイクルプラザ

- ア プール、浴室、体育館及びトレーニング室等を備えた環境総合教育及び健康増進施設として、多くの方が利用しています。
- イ ごみ処理場の余熱利用施設として1996(平成8)年10月に整備しましたが、2017(平成29)年3月に環境センターの焼却工場が廃止されたことに伴い、都市ガスを熱源とした設備に切り替え、運営を継続しています。
- ウ 建築後20年以上経過しており、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。
- エ 指定管理者からの定期点検、建物の状況報告等を毎月受け、作成した修繕計画に基づき、必要な修繕を実施しています。
- オ 笛吹市民は、甲府市民と同料金で施設を利用することができます。また、甲府市と笛吹市の障がい者及び高齢者等には、減免により開放しています。
- カ リサイクルプラザ内の「こうふグリーンラボ」の活用については、環境教育の場としても活用していただけるよう、関係部局や各種団体等へ働きかけを行っています。

② 駐輪場

- ア 甲府駅南口第2自転車駐車場は他の駐輪場と比較して、利用率が低い傾向にあります。
- イ 自転車駐車場の利用促進のための周知に努め、各自転車駐車場の利用率平準化及び利用率向上に向けた取組を実施しています。
- ウ 市や指定管理者等のホームページを活用して、施設案内や観光客等への利用促進も図っています。

③ 斎場・墓場

- ア 斎場は、火葬施設6炉を有する県内最大施設です。施設は建築後40年以上経過しており、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。
- イ 市内には、東八代広域行政事務組合が設置し、管理運営する斎場「東八聖苑」があります。
- ウ つつじが崎霊園は、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。また、承継する親族もいないなどの理由で荒廃した墳墓が存在しているため、墓地の返還勧奨等、効率的な運用が課題となっています。

④ 公衆便所等

- ア 山間部に設置しているため、寒冷地仕様での整備が必要です。
- イ 日常的に点検を施し、建物及び設備の損傷等を軽微のうちに対応しています。
- ウ 千代田湖公衆便所(新橋前)及び昇仙峡天神森市営駐車場(天神森公衆便所)の清掃については、昇仙峡エリア一帯での管理委託を行っています。

⑤ 卸売市場

- ア 市場施設の機能強化、多機能化及び施設の有効活用を図るため2018(平成30)年3月に、「甲府市地方卸売市場経営戦略」を策定しました。
- イ 生鮮食料品等を安定的に提供する流通拠点としての市場機能の維持と老朽化した施設の長寿命化を図るための施設整備を計画的に実施していくことを目的として、2024(令和6)年

3月に、「甲府市地方卸売市場整備計画」（2024（令和6）年度～2026（令和8）年度）を策定しました。

ウ 指定管理者制度を導入し、運営・維持管理の効率化を図っています。

エ 複数ある建物のうち、建築後30年以上経過している施設では、建物や設備等の老朽化対策が課題となっています。

■ 再配置の方向性（総合評価結果）

① リサイクルプラザ

ア 今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と快適性の維持に努めます。

② 駐輪場

ア 甲府駅周辺の自転車駐車場については、時宜に応じた効果的・効率的な利用や、上層階の利用率向上策を検討します。

③ 斎場・墓場

ア 斎場は、建物の点検・診断結果を踏まえ、長寿命化を含め検討します。

イ つつじが崎霊園は、施設運営の効率化を図るため、指定管理者制度の導入を検討します。

ウ 今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と快適性の維持に努めます。

④ 公衆便所等

ア 今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と快適性の維持に努めます。

イ 更新等にあたっては、ユニバーサルデザイン化に配慮し、周辺施設の整備状況、利用率及び将来需用を見据えて検討します。

⑤ 卸売市場

ア 「甲府市地方卸売市場整備計画」（2024（令和6）年3月策定）及び「甲府市地方卸売市場経営戦略」（2018（平成30）年3月策定）に基づき、今あるストックを最大限利活用し、計画的な保全及び改修等の長寿命化対策を実施しながら、建物や設備の安全性と快適性の維持に努めます。

イ 現行の経営戦略は2027（令和9）年度に、整備計画は2026（令和8）年度に計画満了を迎えることから、次期経営戦略及び整備計画の策定に向けて検討を始めます。

■ 中期（2026-2035年度）の検討内容

< 斎場・墓場 >

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
甲府市つつじが崎霊園				○	◇施設運営の効率化を図るため、指定管理者制度の導入を検討します。

< 卸売市場 >

施設名称	目標達成に向けた視点（機能） （効果が期待できる手法）				再配置の方向性 （検討すべき内容）
	施設総量の適正化			効率的な 施設運営	
	集約化 複合化 統合	廃止	適正 規模化		
甲府市地方卸売市場			○	○	◇甲府市地方卸売市場経営戦略及び施設整備計画に基づき、老朽化対策等を進めます。 ◇次期経営戦略及び施設整備計画策定に向けて検討を始めます。